

アンサンブルスルーザヨコスカ

代表 清水玲子

「シニアアンサンブル教室開講・会員募集中」息子が持ち帰ったヤマハ横浜センター音楽教室の募集チラシを見たのは1999年11月頃だったと思います。夫を亡くし心身共に平常に戻り、老後の楽しみを考え始めた頃でした。

東京の友人宅で始まった「ダークダックスのぞうさんと歌う会」は、脳梗塞で倒れた母の介護のため、私は東京まで出向く事が出来なくなり、横須賀でぞうさん指導の合唱団を発足したばかりでしたが、2000年4月開講されたヤマハ横浜のシニアアンサンブル教室に申し込みました。

入退院を繰り返していた母の介護と月1回の合唱団と月3回のヤマハ横浜のシニアアンサンブル教室が私の生活サイクルでしたが、子供の頃ホイホイされて弾けると思っていたピアノはアンサンブルでは通用しませんでした。その時のヤマハの講師が鍋木先生でした。「慣れですよ」と何度も励まされましたが、母の介護もありヤマハシニアアンサンブル教室は2年で辞めました。横須賀で母を介護しながらアンサンブルを続けル事を考え、鍋木先生に相談しました。

先生は「5人集まればアンサンブルは出来ますよ」と言われ、会場確保と広告掲載でメンバー募集し、横須賀での指導を鍋木先生にお願い致しました。

立ち上げた年に全シ連に加盟しまして、その年に鍋木先生の指導楽団のシニア横浜（ヤマハシニアと現シーガル）がホスト楽団となり、横浜で第4回全国大会が開催され、受付のお手伝を致しました。

全国大会のステージを鑑賞し、懇親会に参加させて頂き、ぜひこれを横須賀にと思いまして平成20年第9回全シ連横須賀大会を開催いたしました。団員は現在20名です。

12年になりますが現在の団員との出会いがあり、続いているのです。

今年度の演奏活動予定、横須賀市主催6月15日「市民音楽のつどい」・スルーザ単独演奏・10月26日アフタヌーンティーコンサート・1月25日ニューイヤーコンサート。

